

いま愛は、K·A·T·A·O·K·Aワールド。

「元気でいろよ」のひと言を残して
彼はあの年の夏の彼方へ消えてしまった。
あとに残された彼女としては
自分もどこかへいってしまっほかに
充実した生き方はなかった。

企画製作 植村伴次郎
脚本 前田勝弘
東陽一
金秀吉
音楽 柳慧
撮影 川上皓市

草刈正雄
樋口可南子

小林薫
マリアン
清水健太郎
原田大二郎
佐藤仁哉
高橋ひとみ
風祭ゆき
池波志乃
観世栄夫
草笛光子
松橋登
長門裕之

監督・東陽一
原作・片岡義男
(角川文庫版)

湾岸道路

製作 ● 柴田東北新社 / 幻燈社 配給 ● 東映クラシックフィルム(株) 配

湾岸道路



■スタッフ
 企画製作……植村伴次郎
 原作……前田勝弘
 脚本……片岡義男
 監督……東陽一
 音楽……柳一慧
 撮影……川上暗市
 // 助手……奈良一彦
 // //……石井美夫
 // //……田沢和義
 照明……磯崎英和
 // 助手……林和也
 // //……安藤昭雄
 美術……間野重雄
 // 助手……正田俊一郎
 装飾……本田清一
 // 助手……田中政一
 録音……久保田幸雄
 // 助手……滝澤修
 // //……小原和宏
 助監督……天間敏広
 記録……石山久美子
 編集……市原啓子
 // 助手……比後けい子
 スチール……庄司茂子
 // //……遠藤正秋
 メイク/ヘア……小原千方
 スタylist……光永輝明
 // //……星佐藤
 // 助手……小島徳武
 メインタイトル……スーパードライバーズ
 スタント……神宮也
 オートバイ/ドライバー……市井信一
 第2カメラ……藤田昇夫
 車輪……柳田照芳
 // //……片桐浩示
 // //……畠山治示
 企画協力……角川春樹事務所

衣装……東京衣画室
 撮影機材……三映材社
 // //……PANAVISION
 照明機材・車輪……日本照明
 メイク/ヘア……オプティコム
 装飾……高津美術
 // //……京阪商会
 特殊効果……NK特機
 特機……明光セレクト
 // //……東映化学工業
 現像……東映化学工業
 タイトルデザイン……デジフィルム
 // //……宮口勝弘
 監督助手……萩原吉昭
 // //……杉本信昭
 // //……松垣雄二
 製作主任……小松原時夫
 進行……橋本剛昭
 // //……濱渡雅夫
 デスク……佐々木浩司
 製作事務……田嶋貴子
 // //……鈴木亮良
 // //……重松良

■キャスト
 杉本 健介……草刈 正雄
 杉本 美英子……樋口 可南子
 中 村……小林 薫
 キャサリン……マリアン
 佐々木……清水健太郎
 // 谷沢……原田仁
 斎藤……藤原義典
 斎藤……高橋あきみ
 ゆかり……池田波志乃
 クラブのママ……地巻草子
 杉本の母……津島 栄
 穴守……河合 有馬
 クラブの客……西田 健
 // //……西田 健
 太った男……ウツガキ
 キャサリンの子……ミツキ
 食堂のおばさん……市川 夏江
 カードの男……松橋 登
 長 沢 先生……長門 裕也
 (友情出演)

監督 東陽一
 原作 片岡義男
 <角川文庫版>
 主演 草刈正雄
 樋口可南子

製作・崇 (株)東北新社/幻燈社
 配給・東映クラシックフィルム株

脚本は東監督自身と新鋭・金秀吉。撮影は、「サード」以来、東映画には欠かせぬコンビである名手・川上皓市が担当する。

主演は「汚れた英雄」以来1年半ぶりの映画出演である草刈正雄と、「正」"ときめきに死す"の樋口可南子。ふたりは初共演であり、片岡義男+東陽一の世界のめざす都会的なムードに最もマッチしたカップルであるといえる。そして、男の友人であるオートバイショップの中村役に、「セカンド・ラブ」で東監督と呼吸(イキ)の合うところをみせた小林薫。その妻キャサリン役に、資生堂のキャンペーン・モデルとしてデビューしたマリヤンが出演。他に、清水健太郎、風祭ゆき、松橋登、長門裕之、草苗光子、池波志乃ら個性的な演技陣が顔を揃えている。

女が坂道をのぼって行く。上から白いクライスラー・コルドバが降りて女のそばでとまった。車の窓からきつい表情の男が顔を出す。「待ち合せの場所でちゃんと待ってる。」

男の名前は、杉本健介(草刈正雄)。ボディ・ビルインストラクターとして、スポーツ・クラブに勤めていた。女の名前は杉本美英子(樋口可南子)。一部上場会社の総務部庶務課に勤めていた。

健介は、車に美英子を乗せると、美英子を叱責した。それは、健介があこがれているハレリー・タバッドソンのビッグ・バイクの頭金を支払おうとした時、銀行口座の残高ゼロを知ったからだ。今度が初めてのことでない。美英子のクレジット・カードの枚数は、実に31枚。二人は東名高速を抜けて、霧の箱根山荘へと向った。健介が勤めるスポーツ・クラブのインストラクター仲間、みんな気がさす。ゆかり(風祭ゆき)には、山荘での美英子との情事をひやかされるし、水泳のインストラクターの佐々木(清水健太郎)からはデートの忠告を受ける。二人は幸せだ。マンションでは、健介がつくるダイキリを飲みながら、しゃれた会話、二人でつれだつての食事、オートバイ・シヨールームでは、その店の幼なじみの中村(小林薫)が二人に声をかけた。そこには、健介あこがれのハレリー・タバッドソンの展示してあった。このクラブ「桂」のホステスのピンチヒッターとして店に出た美英子は、たちまち客たちの注目を集めた。そんな美英子に「桂」のママ(池波志乃)は、彼女に金を払う客を紹介した。箱根のホテルで一晩15万円。健介が美英子をそのホテルまで送って行く。健介にとって了解済みの事なのだ。二人にとって渴いた体験がしのびよる。でも二人の生活には変わりはない。

週2日、美英子はクラブに勤めだして、銀行の残高を気にせず、好きなものを買って求めることができるようになった。——一人の生活は今までとどおりだ。しかし、健介の心の中には、砂漠があった。広がり始めたその砂漠をつっぱしりたいという想いがつのつてくるのだった……。

解説

ひとりの男と、ひとりの女。世間的には、ふたりは夫婦と呼ばれている。ふたりはお互いを愛し、これ以上にはない、すてきな男とすてきな女だと思っている。夫婦という形式以上に……。

そして、ある日、男は湾岸道路から夏の彼方へ消えていった。ひとり残された彼女は、生まれつきの才能を努力で鋭くみがきあげ、自分もどこかへ旅立つことで、心の空白を埋めようとする。言葉にならない愛のかたち、出逢いと別れを見つめるしなやかな感性が、もうひとつの愛のドラマを作りあげていく。

洒落た会話で綴る男と女の変奏曲。若者たちのシティ・ロマンスを描いて、熱狂的な人気を獲得している片岡義男の世界——100万部を突破する驚異的な売れ行きは、若者たちが求めるシンプルな生き方を、最も爽やかな形で示しているからだろう。「もう頼づえはつかない」「四季・奈津子」「ザ・レイブ」で現代に生きる女たちの心理と日常を絶妙なタッチで描いてきた東陽一監督が、KATOKAWARLDの最高作「湾岸道路」で、新しい愛のかたちを追求する。けだるい透明感をただよわせた主人公たちが、人生のターニング・ポイントをさりげなく走りぬけていく有様が、美しい映像で描きだされている。

ストーリー

女が坂道をのぼって行く。上から白いクライスラー・コルドバが降りて女のそばでとまった。車の窓からきつい表情の男が顔を出す。「待ち合せの場所でちゃんと待ってる。」

男の名前は、杉本健介(草刈正雄)。ボディ・ビルインストラクターとして、スポーツ・クラブに勤めていた。女の名前は杉本美英子(樋口可南子)。一部上場会社の総務部庶務課に勤めていた。

健介は、車に美英子を乗せると、美英子を叱責した。それは、健介があこがれているハレリー・タバッドソンのビッグ・バイクの頭金を支払おうとした時、銀行口座の残高ゼロを知ったからだ。今度が初めてのことでない。美英子のクレジット・カードの枚数は、実に31枚。二人は東名高速を抜けて、霧の箱根山荘へと向った。健介が勤めるスポーツ・クラブのインストラクター仲間、みんな気がさす。ゆかり(風祭ゆき)には、山荘での美英子との情事をひやかされるし、水泳のインストラクターの佐々木(清水健太郎)からはデートの忠告を受ける。二人は幸せだ。マンションでは、健介がつくるダイキリを飲みながら、しゃれた会話、二人でつれだつての食事、オートバイ・シヨールームでは、その店の幼なじみの中村(小林薫)が二人に声をかけた。そこには、健介あこがれのハレリー・タバッドソンの展示してあった。このクラブ「桂」のホステスのピンチヒッターとして店に出た美英子は、たちまち客たちの注目を集めた。そんな美英子に「桂」のママ(池波志乃)は、彼女に金を払う客を紹介した。箱根のホテルで一晩15万円。健介が美英子をそのホテルまで送って行く。健介にとって了解済みの事なのだ。二人にとって渴いた体験がしのびよる。でも二人の生活には変わりはない。

週2日、美英子はクラブに勤めだして、銀行の残高を気にせず、好きなものを買って求めることができるようになった。——一人の生活は今までとどおりだ。しかし、健介の心の中には、砂漠があった。広がり始めたその砂漠をつっぱしりたいという想いがつのつてくるのだった……。

11月24日 大公開

熊本東映パラスタ劇場